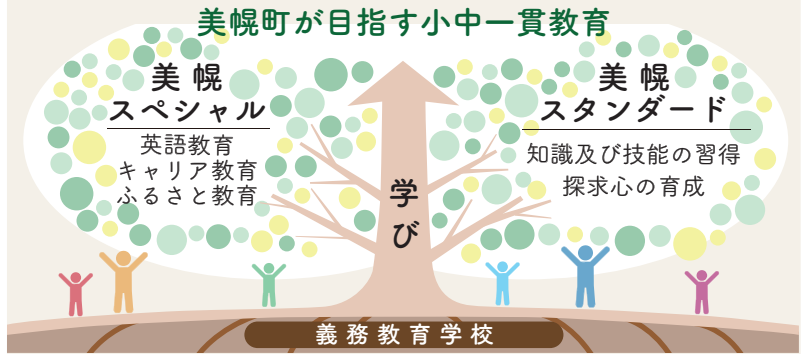


新たな学びと地域交流拠点となる義務教育学校を美幌町の皆さんと実現します

取組姿勢 美幌町が目指す小中一貫教育の特徴である**美幌スペシャル**と**美幌スタンダード**を实践でき、これからの社会の変化に対応し、永く使い続けられる子どもと町民のための「**みんなの学びの場**」を美幌町の皆さんとともにつくります。



みんなの学び場をつくるための5つの方針

方針① 施設全体を美幌町の児童生徒の学び、生活、交流を支える場としてつくります



方針② 児童生徒一人一人に対応し、多様な学びが実現できる柔軟で創造的な学習空間をつくります



方針③ 地域社会と連携し、子どもも大人も安心して学ぶことができるコミュニティスクールをつくります



方針④ 工事中の安心安全な学校運営を支える明解で合理的な工事計画とします



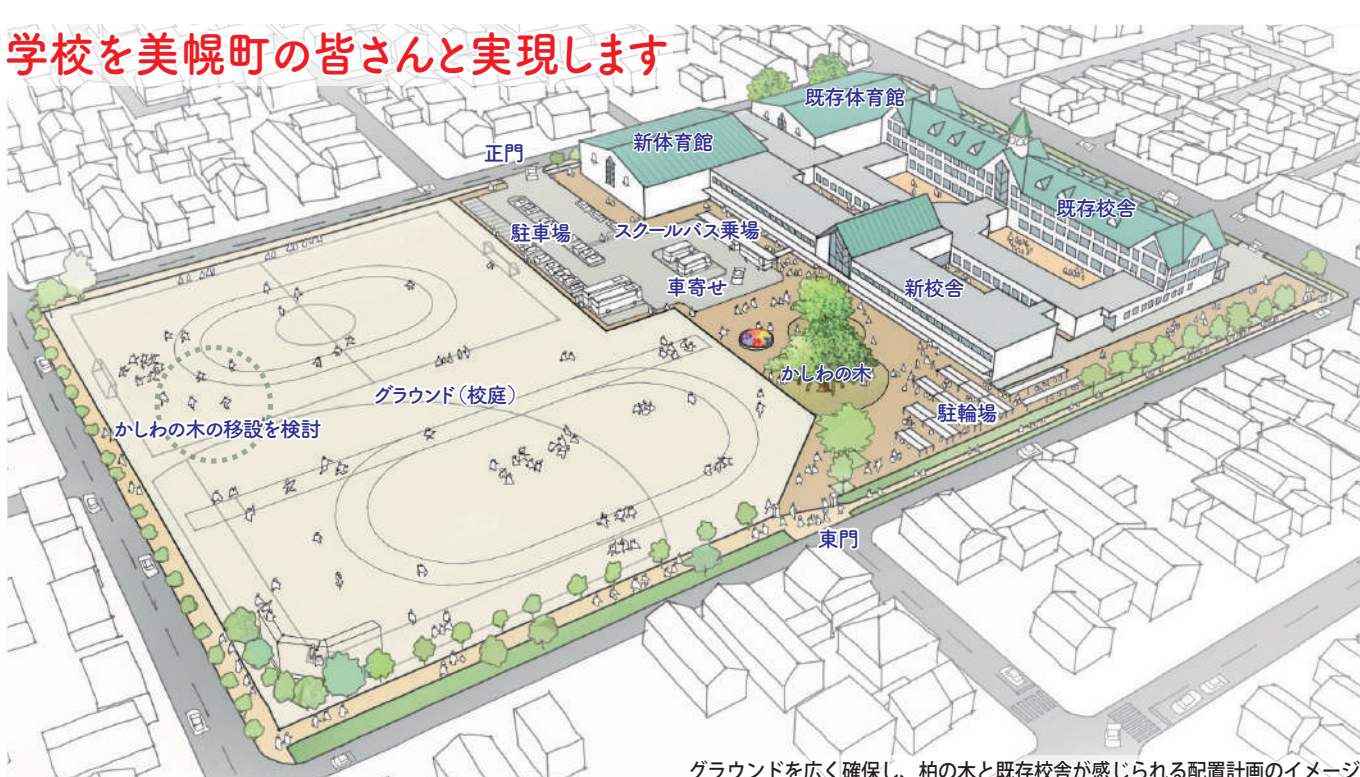
方針⑤ コンパクトで合理的な計画によりコストを削減し、永く使い続けられる美幌の学びの拠点をつくります



取組姿勢 歴史や文化、関係者の想いを継承

既存校舎やかしわの木を最大限活かす:子どもファーストを前提としつつ、既存校舎やかしわの木に対する関係者の皆さんの想いを尊重し、最大限活用する計画とします。美幌町の皆さんが大切にしてきた想いを新しい学校づくりに継承します。

5校統合の伝統や文化を継承:統合する5校の伝統や文化をきちんと継承できる学校づくりを目指します。



工程管理 承認時期を見据えた確実な工程管理

業務期間をステップに分けた遂行計画:業務期間を4つのステップに分け、ステップ毎に合意すべき目標と成果を明確にすることで、着実に業務を遂行します。

議会承認を見据えたスケジュール管理:業務期間内に開催される議会毎に報告、承認いただけるよう、議会前に各会議で合意形成が可能なスケジュールを立案します。

決定の根拠を明確化:課題を整理・リスト化し、関係者と共有の上で着実に解決します。課題解決の際の根拠及び進捗を明確にし、もれのない課題解決を図ります。

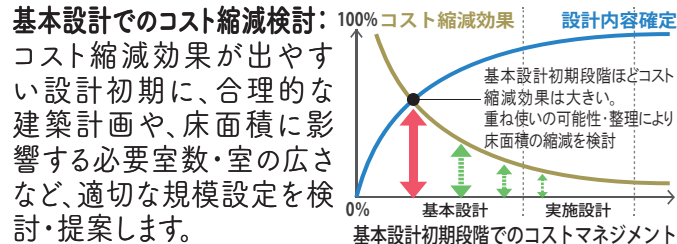
ワークショップによる子ども・町民・教職員の意見聴取:子ども・町民・教職員とのワークショップを複数回を行い、これからの学校を一緒に考え、みんなの意見を反映します。

グラウンドを広く確保し、柏の木と既存校舎が感じられる配置計画のイメージ

コスト管理 物価上昇の予測と予算との調整期間を確保

建設市況を迅速に反映:多数の学校実績の工事費を基に工事費の分析予測を行い、市況を随時反映した概算作業を複数回実施し精度を高めます。

昨今の情勢を見据えた仕様の提案:中東情勢などにより納品に時間を要するものなど、豊富な取引先から都度情報を確認することで、遅延の生じにくい仕様を提案します。



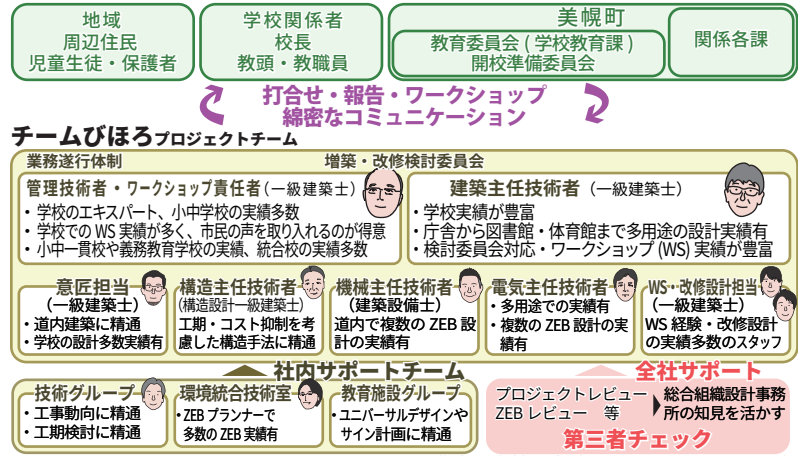
	令和 8 年 (2026 年)						令和 9 年 (2027 年)				
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
	基本設計 9.5 ヶ月										
議会	議会		議会			議会		議会			
開校準備委員会			規模			配置ゾーニング		概要			
定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	納品
ワークショップ	WS①●報告 テーマ：学校でやりたいこと		WS②●報告 テーマ：ゾーニングゲーム			WS③●報告 テーマ：コンセプトを考える					
 ワークショップのイメージ 基本設計	STEP1 配置規模の検討		STEP2 計画案案・配置			STEP3 詳細検討・基本設計図		STEP4 まとめ			
	規模・諸室 FIX		一般図 FIX			基本設計概要 FIX					
	準備・調査										
	法的条件・インフラ整理										
	建物規模・諸室数検討										
	立地特性の確認 統合する 5 校の調査 最新類似施設の調査 関係法令、条例の整理		配置検討			諸元表		詳細検討			
			平面検討 / 立面・断面検討								
			構造計画の検討			軸組・仮定断面					
			設備方針の検討			設備計画の検討					
			解体・改修方針の検討			改修・解体計画の検討					
品質管理 (社内レビュー)	開始レビュー		中間レビュー			完了レビュー		業務工程表のイメージ			

実施体制 実績豊富な設計チームと専門チームのバックアップ体制

学校づくりの実績が豊富な設計チーム:義務教育学校に精通し、全国で豊富な実績を持つスタッフで設計チームを構成します。チームにはワークショップ責任者・担当を配置し、関係者との協働を支えます。また工事に精通した改修設計担当も配置します。

積雪寒冷地の知識が豊富なスタッフ配置と迅速な対応:札幌オフィスを中心に迅速な対応が可能な体制を構築します。積雪寒冷地の設計経験が豊富な設計チームが、美幌町の気候風土を適切に読み解き、この場所に相応しい学校を実現します。

社内専門サポートチームによるバックアップ体制:工事費・工事工程・環境配慮に精通した社内サポートチームのバックアップを受け、技術的な裏付けのある計画としてまとめあげ、高品質の建築を実現します。



豊富な学校の実績を有する設計チーム体制



小学校:統合校の実例 5校統合の小学校。特徴ある既存校舎に増築。全体が調和するよう外観を計画。
小中一貫校:メディアセンターの実例 普通教室・特別教室に囲まれたメディアセンターを配置。どこでも学びが誘発される計画。
大学研究棟:ZEB Readyの実例 ZEB Ready取得。汎用的な技術・設備で性能向上を図り、一般的な大学施設同等のコストで実現。

合意形成 丁寧な対話と徹底した検証に基づく合意形成

対話重視の設計姿勢:多数の教育施設の設計実績に基づく知見を活かし、関係者との対話を重視することで課題解決に取組みます。

重要項目の比較案による最適案の選定:本計画を進める上での重要な検討項目については、複数案による比較検討を行い、関係者と協議を重ねたうえで最適解を導き出します。

	開校検討委員会配置検討案	本提案	既存解体案
検討案			
かしわの木	×伐採が必要	○残すことが可能	○残すことが可能
工事工期	○予定通り終わる	○予定通り終わる	×先行して解体が必要 予定通り工事が終わる必要検討
工事中の運営	△既存改修時のゾーニングが分断される	○まとまった形で運用可能	△既存改修時のゾーニングが分断される
建設コスト	△分棟になるため、杭や仮設工事にややコストがかかる	○最小限のコスト	×解体にコストがかかる
近隣への影響	△東側に圧迫感を与える	○影響はほぼない	○影響はほぼない
南側からの既存校舎の見える	△3階の場合、東側が見えなくなる	○現在と同様、屋根・塔が見える	×3階のため、既存校舎が見えなくなる
校庭の広さ	△やや狭い	○広く確保可能	○広く確保可能

複数案による配置計画の比較検討